



江部乙丘陵地のファンクラブ一〇年の足跡



“私たちの故郷・江部乙を、何とか活性化しなければ…” 10年前、そんな想いを持った3人が立ち上がり、「江部乙丘陵地のファンクラブ」は誕生しました。私たちは、フットパス・自然観察会・写真展の3つの活動を柱として、江部乙の魅力を再発見し、訪れる人々にその魅力を紹介し、広く皆さんに情報発信することを通して、この地域内外の様々な人々を巻き込み、新たな“動き”を生み出してきました。私たちの会が設立10周年という節目を迎えるにあたり、故郷の歴史的文化財「鍛塚」の修復とその碑にまつわる記念講演会を行う運びとなりましたが、これに合わせて私たちの会がこれまで歩んできた10年の“足跡”を、簡潔に振り返っていきたいと思います。

● 江部乙丘陵地のファンクラブの歴史

- ◎ H18. 5. 7 江部乙丘陵地のファンクラブ 設立総会(初代会長：大崎 順助)
- 7. 1 岩橋崇至(岩橋英遠の三男)による写真塾への協力
- 8. 2 アートチャレンジ 滝川主催「学生デザインコンパ」の現地調査協力(ガイド)
- ・その他の活動 ～ フットパス(3回)、自然観察会(4回)、写真展(伝習館ギャラリー・10回)、野鳥館まつりの開催など



ファンクラブ
設立発起人
(中央手前より
時計回りに
大崎、中島、
加藤)の3人



フラワーソン (今年度実施)の様子

- H19. 6.16～17 フラワーソン参加
- 8.25～26 岩橋崇至写真塾への協力
- ◎ 春～ 「北辰の森」の桜並木整備を開始(「桜サポーター」の発足)
- ・その他の活動 ～ フットパス(5回)、自然観察会(5回)、写真展(伝習館ギャラリー・10回)、りんご室ギャラリーの開催など



桜サポーターの活動



菜の花めぐりフットパス

- H20. 4.16～30 道の駅ギャラリーで写真展を初開催(前2年は伝習館開催)
- ◎ 5.24 菜の花めぐりフットパスを北海道エコネットワークと共同で開催
- 21. 2. 7 「丸加高原冬まつり」への協力
- ・その他の活動 ～ フットパス(4回)、自然観察会(7回)、写真展(伝習館ギャラリー・9回)、雑誌「モーリー」19号への特集記事掲載など

- ◎ H21. 5. 9 牧場フットパス&地域環境学講演会の開催(講師：小川 巖 氏)
- 8.25～26 全道フットパスの集いへの参加(上富良野町で開催)
- 22. 3. 6 岩橋崇至写真塾への協力
- ・その他の活動 ～ フットパス(6回)、自然観察会(4回)、写真展(伝習館ギャラリー・8回)、新ひだか町視察研修の受入れ対応など



牧場フットパス
&地域環境学講演会の様子
(左右とも)



- ◎ H22. 6. 2～13 「ミニ菜の花まつり」(初のロングラン菜の花まつり)を開催
- 10. 2 「フルーツの丘」の施設活用に向けた協議開始
- 11.14 「文学の径」散策会・講演会への協力
- ・その他の活動 ～ フットパス(6回)、自然観察会(11回)、写真展(伝習館ギャラリー・10回)、「えべおつ馬倶楽部」の発足など



初のロングラン開催
が実現した「ミニ菜
の花まつり」

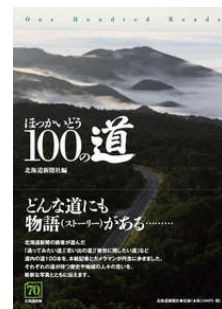


えべおつ馬倶楽部
の協力によるフッ
トパスの乗馬会

- H23. 4.17 「フルーツの丘」に活動拠点を移転(年度総会を現地にて開催)
- 5.26～6.5 ツアー会社のフットパスガイド受入れ対応(3社5回)
- ◎ 10. 2 「日本都市計画家協会まちづくり大賞」を受賞
- ・その他の活動 ～ フットパス(10回)、自然観察会(10回)、写真展(伝習館ギャラリー・7回)、「滝川市おためし暮らし」事業の参加者へのガイド対応など



「まちづくり大賞」
受賞記念講演会
(道工大・久保教授)



道新創刊 70周年記念
事業の「ほっかいどう
100の道」に選ばれる

- ◎ H24 4. 4 江部乙丘陵地フットパスが「ほっかいどう 100の道」に選定
- 6.16～17 フラワーソン参加
- 25. 2.22 「わが村は美しくー北海道」運動の奨励賞を受賞
- ・その他の活動 ～ フットパス(9回)、自然観察会(10回)、写真展(伝習館ギャラリー・7回)、「江部乙まちづくり研究会」の発足など

- ◎ H25. 5.25～6.2 フルーツの丘で「菜の花イベント」を実施
(岩橋崇至写真塾、津留崎直紀コンサート、農産物直売など)
- 7. 6 道産子追憶之巻フットパスの初開催(美術自然史館と共催)
- 9. 7～ 8 全道フットパスの集いへの参加(上富良野町で開催)
- ・その他の活動 ～ フットパス(10回)、自然観察会(9回)、写真展(伝習館ギャラリー・9回)、
「北海道フットパスネットワーク」の創設・加盟など



フルーツの丘で実施した
「菜の花イベント」の様子
(左右とも)



- ◎ H26. 4.26 まちづくり研究会がまちづくりコミュニティー行動隊として活動開始
- 11.28 「日本で最も美しい村」江部乙協議会発足(加盟に向けた準備開始)
- 12. 6 フットパス講演会の開催(講師：石 弘之 氏・小川 巖 氏)
- ・その他の活動 ～ フットパス(10回)、自然観察会(7回)、写真展(道の駅ギャラリー・1回)、
「江部乙あかりものがたり」への協力など



まちづくり研究会
主催の住民ワークショップ



江部乙あかりもの
がたりの風景

- H27. 5.17 えべおつ丘陵地マラニックへの協力
- ◎ 10. 2 江部乙地区が「日本で最も美しい村」連合に加盟
- 10.17～18 「丸加高原秋まつり」を実施
- ・その他の活動 ～ フットパス(9回)、自然観察会(8回)、写真展(道の駅ギャラリー・1回)、
「オープンガーデン」への協力など



江部乙地区が「日本で最も
美しい村」連合に加盟

それぞれの家の個性が
光るオープンガーデン



- H28. 7.12 つうフレンド勉強会「江部乙を知ろう」への講師派遣
- ◎ 9.17 横山文彦氏(横山春一の子)の鍬塚訪問対応
- ・その他の活動 ～ フットパス(9回)、自然観察会(8回)、写真展(道の駅ギャラリー・1回)、
「森カフェ」への協力など



青空の下みんなで
「森」呼吸!
「森カフェ」の風景

横山文彦氏(横山春一
の子)が鍬塚を訪問



- H29. 6.17～18 フラワーソン参加
- ◎ 8.27 創立10周年記念事業・鍬塚修復記念式&記念講演会

● 私たちファンクラブの活動が江部乙にもたらしたもの》

「江部乙丘陵地のファンクラブ」は、冒頭に紹介した設立の趣旨に則り、会の主要な事業であるフットパス、自然観察会、写真展の開催による地域の交流人口増加や魅力の内外への発信のほかにも、この地域にたくさんのもを生み出してきました。

地元出身の日本画家、岩橋英遠の三男・崇至氏からの相談をきっかけに、当時は放置に近い状態だった“英遠の桜並木”を再生させようと、当時の役員（大崎、中島ほか）が市に働きかけ、江部乙公園で桜の種を採り、圃場を整備し、育った苗木を中学校の向かいの遊休地に移植し、中学生も巻き込んで新たな“英遠の桜”の名所を作っていこうという活動から、『桜サポーターの会』が生まれ、現在は NPO 法人「岩橋ふるさと北辰振興会」の中心的存在として活動を展開しています。このほかにも、丸加高原で実施されたホーストレッキング会のサポートをきっかけに馬好きの会員（松島、磯ほか）が中心となって誕生した『えべおつ馬倶楽部』や、北海道工業大学・都市空間創造学科の久保教授とその研究室の学生への協力に端を発して当会が受賞することとなった「日本都市計画家協会まちづくり大賞」がきっかけで『江部乙まちづくり研究会』が誕生し、これがさらに具体的な行動を起こすための団体『江部乙まちづくりコミュニティ行動隊』の発展につながる事となった。さらに、この一連の活躍に注目した市や江部乙商工会との協働によって、江部乙地区が「日本で最も美しい村」連合への加盟を果たすことに結実をしたのだと思います。また一方では、当会の役員（高橋満、中島ほか）が中心となり、それまでは週末の2日間のみで開催が定番となっていた江部乙の春のイベント「菜の花まつり」を、1週間以上に及ぶ長期間のイベントへと“改革”するため、地元農家や市の関係部局・関連団体などとの折衝に東奔西走し、加えて多くの熱心な会員やボランティアの皆さんのご協力をいただくことにより、11日間連続の初のロングラン「菜の花まつり」の実現に漕ぎつけることができたのでした。

このように、私たちの活動が市をはじめとした多くの団体や、それに属する様々な人々を巻き込むことによってこの地域にもたらしたものは、今ではそれぞれが地域の重要な役割を担っていて、その影響の大きさは計り知ることができません。これら新たに誕生した数多くの「芽生え」達と手を携えながら、これからも「江部乙丘陵地のファンクラブ」は更なる発展を続け、微力ながら郷土・江部乙をよりよいものにしていきたい。私たちはこの節目の年にあたり、そんな想いを新たにしています。

平成 29 年 8 月

江部乙丘陵地のファンクラブ 会長 東元 勝己

江部乙丘陵地のファンクラブ 10周年記念事業
鍬塚改修記念式・記念講演会用小冊子

制作：江部乙丘陵地のファンクラブ 平成29年度役員

東元 勝己	新谷 富喜男	吉田 浩道
寺崎 りえ子	中島 和治	高橋 満
小川 和宣	磯 淳典	藤岡 哲雄